（参考資料） 神戸元町街頭写真データ分析 (2016 年 11 月編)

※去年比較のため 10 月末撮影（天候、気温の関係）

2016.12.12
CREATIVE COLORS　松岡

街頭写真から「色に対する気分」を見ることにします。

A：目立つカラー：身に着けているアイテムの中で彩度の高い色動向

B：着装カラー：着ている服の色動向

C：アイテムカラー：各アイテム毎の色動向中心に、街頭写真のポイントなどを報告します。

概要

日時　2016 年 10 月 30 日 18 度
　　2015 年 11 月 04 日 21 度

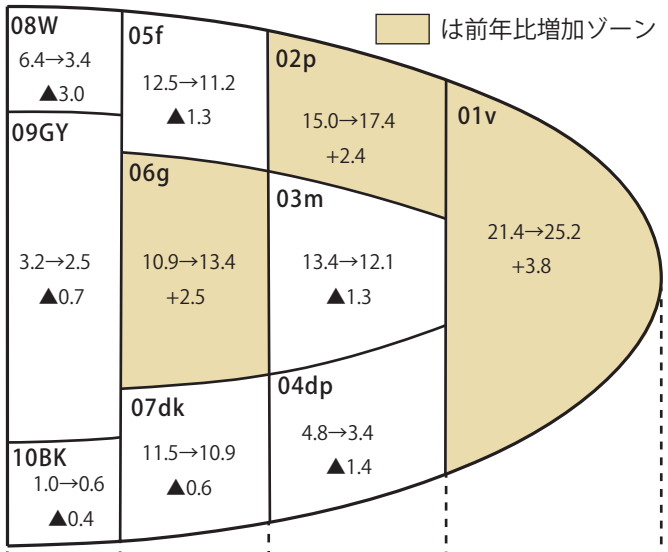
場所　神戸元町（神戸大丸近く）

対象　20-50 代女性

目立つカラーのトーンマップを見ると、高彩度方向が伸び、低彩度方向が減少しています。着装カラーのトーンマップを見ると、ニュートラルの白、黒中心に減少となっています。（それでも量的には多く 44% 占めている）色相では、反動で、有彩色全般が少し増加となっています。ピンク系、緑系、オレンジ系、紫系などが伸びいます。アイテム的には、スカート、ジャケット、セーターが伸び、服以外のアイテムでは鮮やか使いが多くなってきています。

A：目立つカラー（服以外含む）

目立つカラーのトーンマップ対応



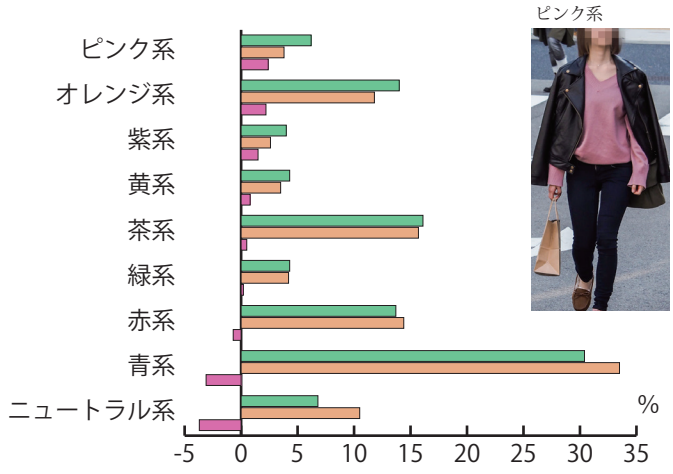
彩度別略文字とトーン対応

無	無彩色	(08W　09GY　10BK)
低	低彩度	(05f　06g　07dk)
中	中彩度	(02p　03m　04dp)
高	高彩度	(01v)

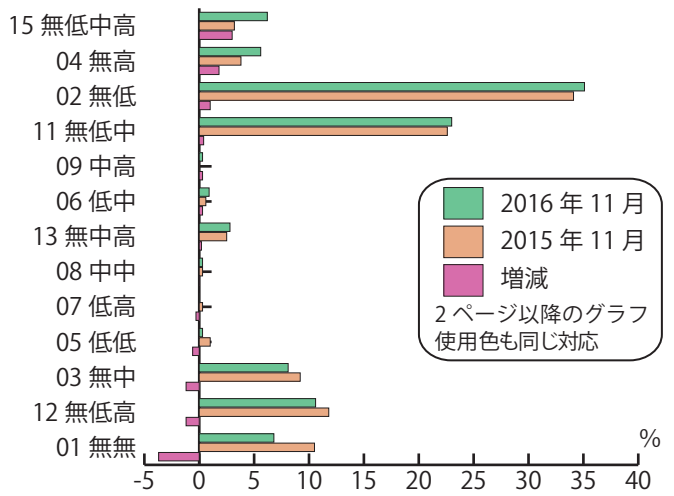
トーン記号

1v	鮮やかな	06g	灰み
02p	淡い	07dk	暗い
03m	にぶい	08W	白
04dp	濃い	09GY	灰
05f	かすかな	10BK	黒

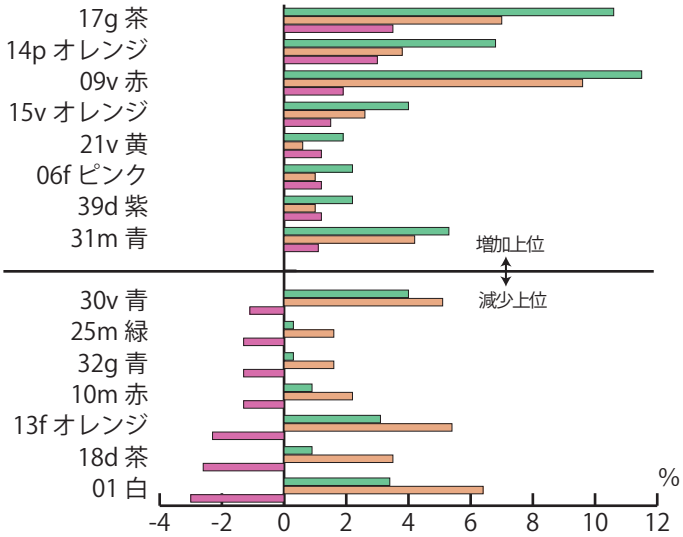
色相集約した目立つカラー増減（増加順）



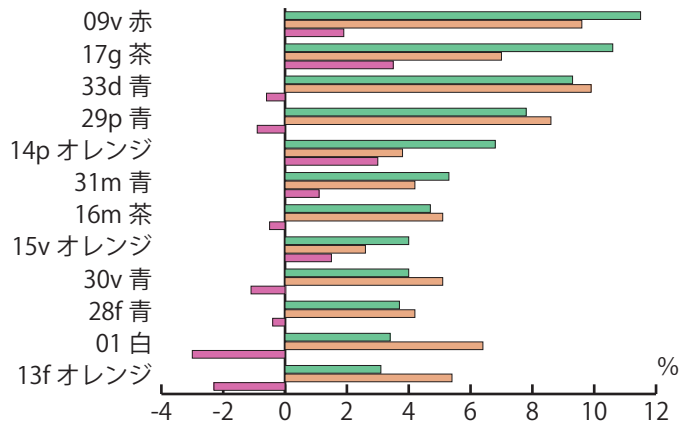
目立つカラーのトーン組合せ増減（増加順）



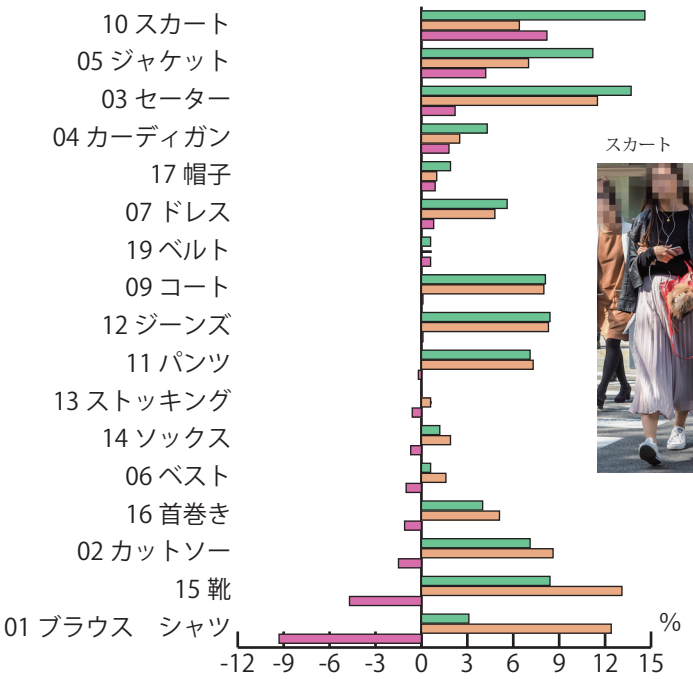
目立つカラー増減（上位）

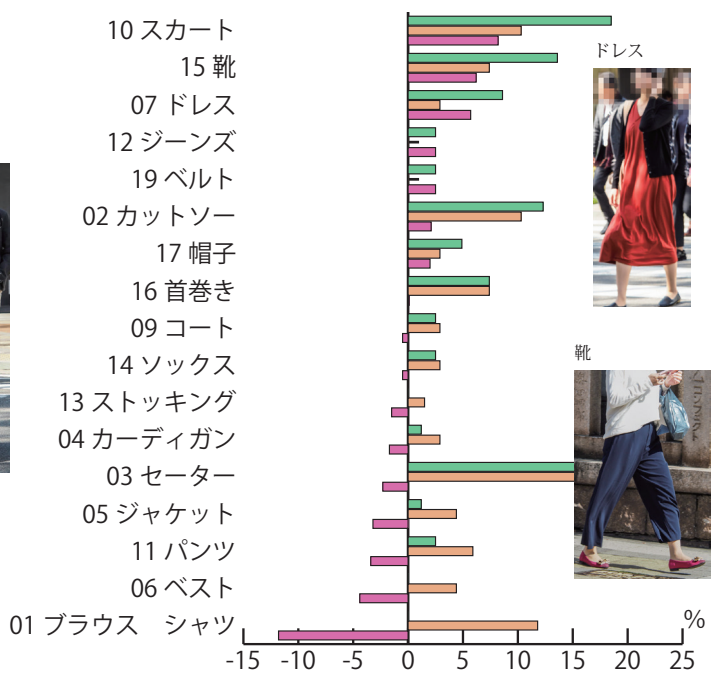


目立つカラー量的に多い順（上位）



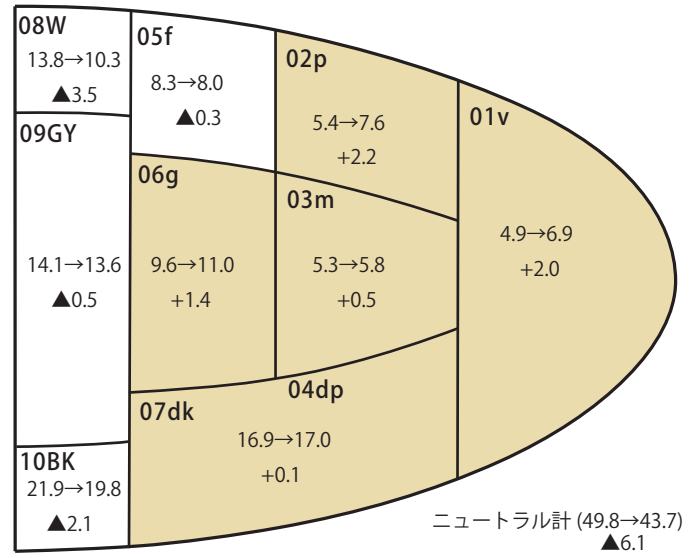
A：目立つカラー（服以外含む）

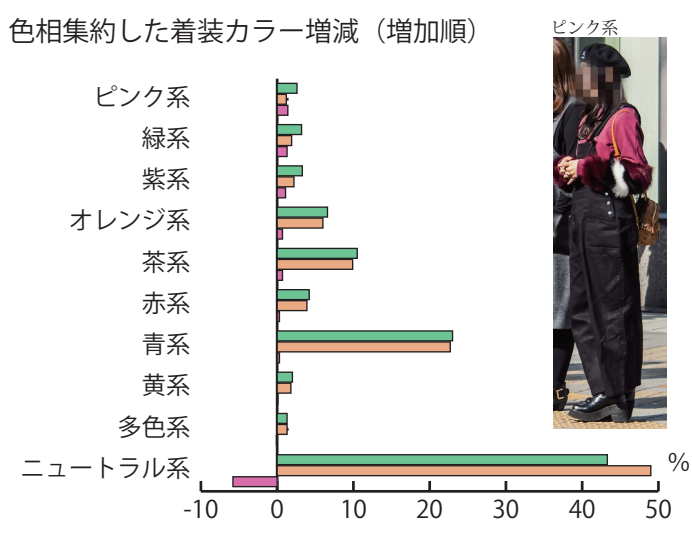


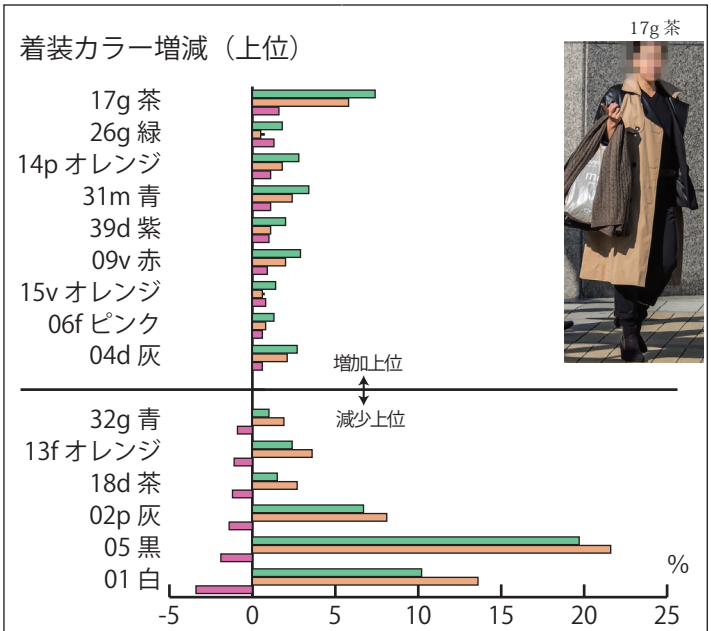


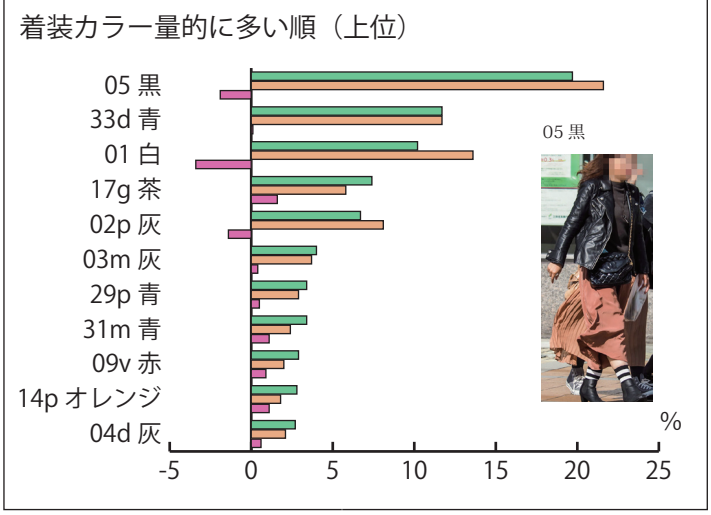
B：着装カラー

街頭で見た印象に近い着装カラー（服のみ）





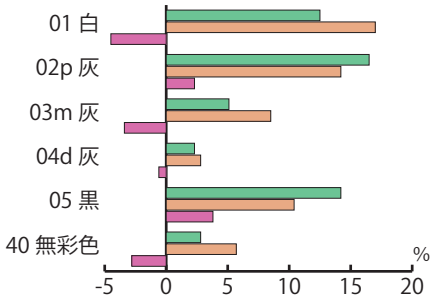




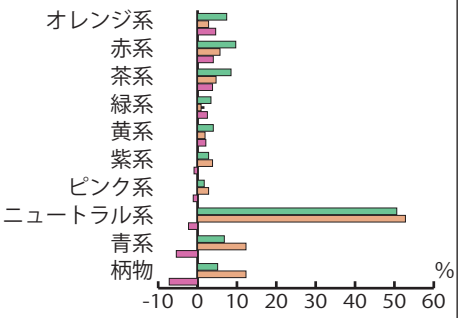
C：アイテムカラー　　アイテム別カラー動向　（40 番からは柄物）

セーター、カーディガン

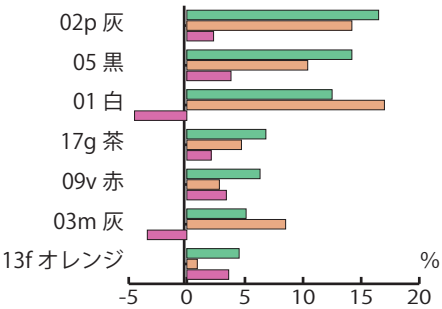
ニュートラル系増減



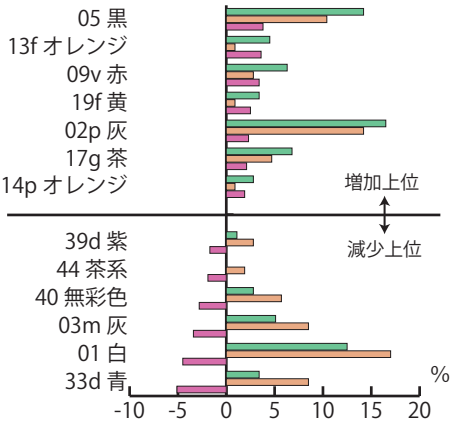
集約した色相増減（増加順）



詳細カラー多い順（上位）

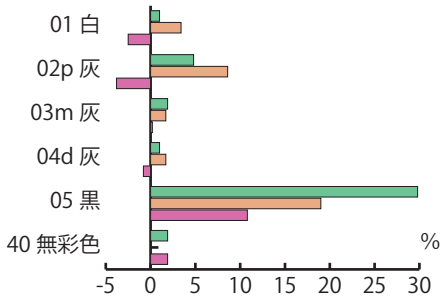


詳細カラー増減（上位）

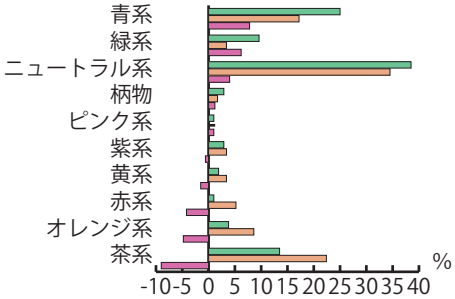


ジャケット

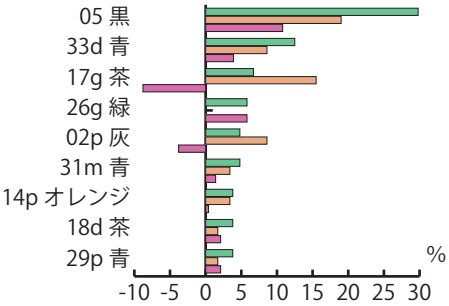
ニュートラル系増減



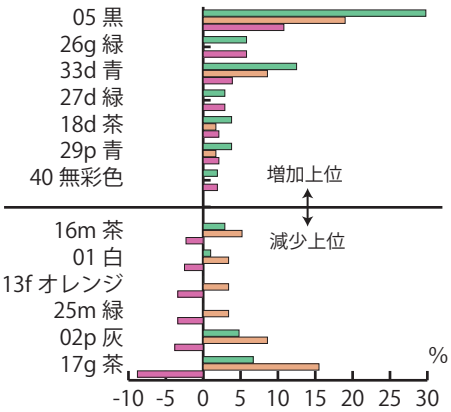
集約した色相増減（増加順）



詳細カラー多い順（上位）

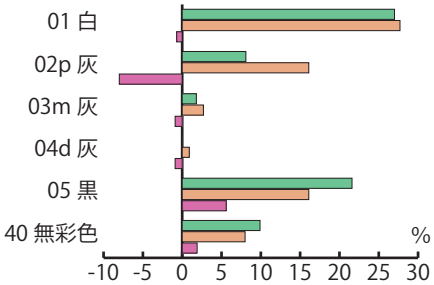


詳細カラー増減（上位）

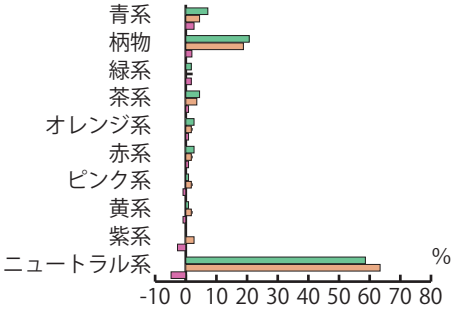


カットソー

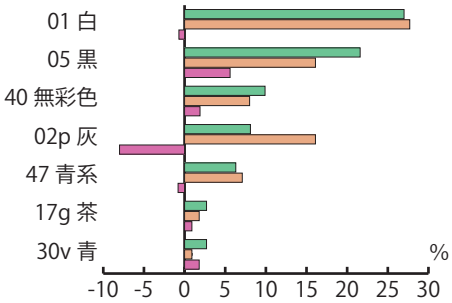
ニュートラル系増減



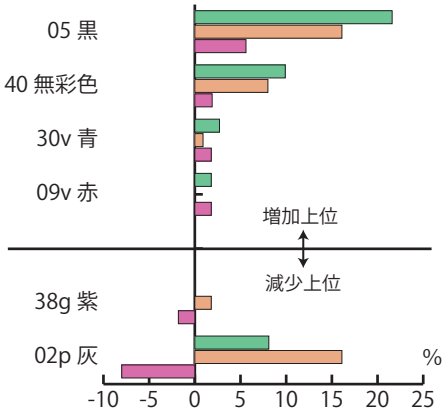
集約した色相増減（増加順）



詳細カラー多い順（上位）

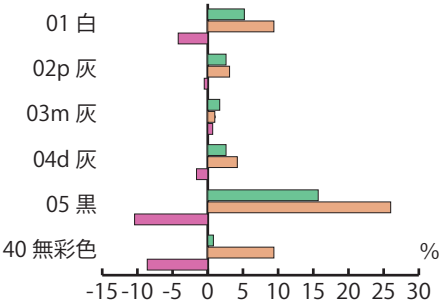


詳細カラー増減（上位）

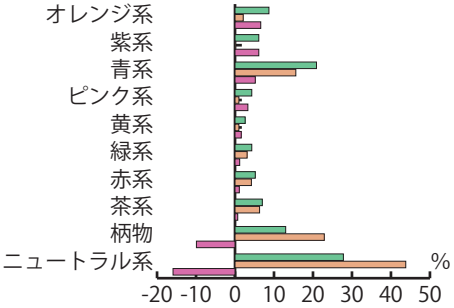


スカート

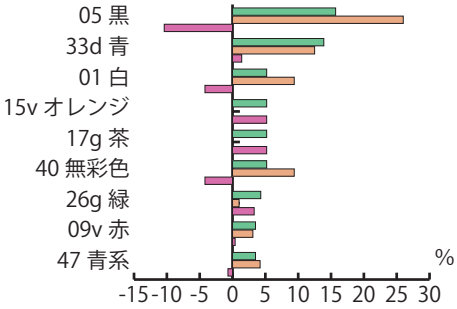
ニュートラル系増減



集約した色相増減（増加順）



詳細カラー多い順（上位）



街頭写真のポイント

目立つカラーは明るい茶周辺とビビッドカラーがリード

茶系、オレンジ系が伸び、今までの青系、ニュートラルが減少に
（p 淡い　g 灰み　v 鮮やかな）

17g 茶　14p オレンジ　09v 赤　15v オレンジ　21v 黄

着装カラーは有彩色が幅広く伸びる

量的に多いニュートラル系の減少が目立つ
色相集約では量的に少ないが、ピンク系、緑系が登場

17g 茶　26g 緑　14p オレンジ　31m 青　39d 紫

着こなしいろいろ

アイテム変化

増加アイテム
ジャケット増加が目立つ
(+5.2)
スカート（+1.6）
セーター（+0.9）と続く
減少アイテム
パンツ（▲ 3.3）
ブラウス（▲ 2.2）

レザータイプ

黒カラー使い

ボリューム感

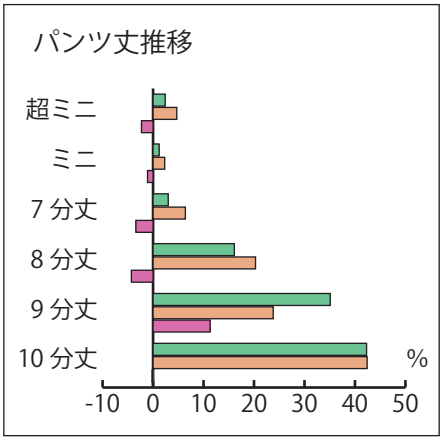
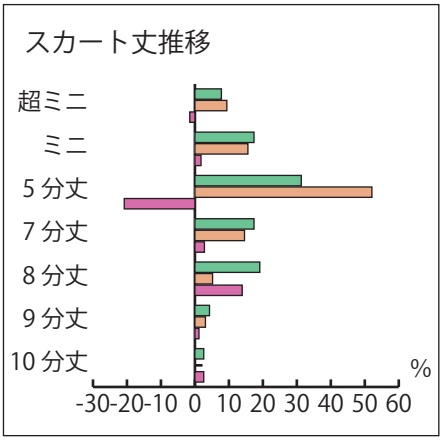
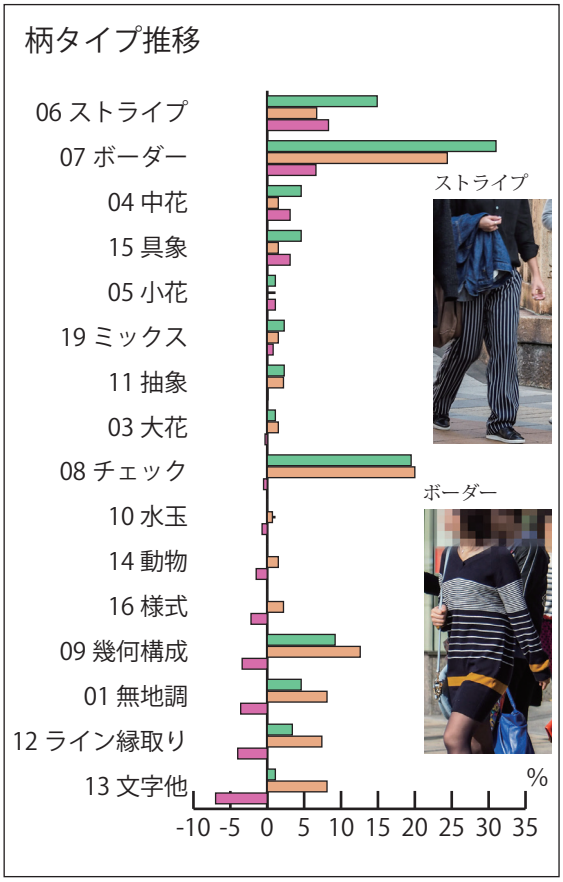
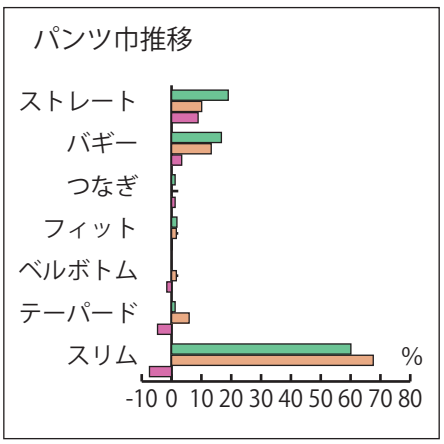
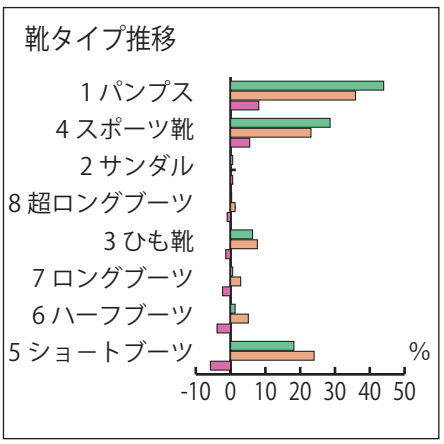
ソフト、ドレープ

立体的

プリーツなど

光沢タイプ

ブルゾンなど

ビビッドカラー

靴など